

川でつながる新旧市街地：  
大阪城に隣接する26haの超高層ビル群の商業一大拠点



撮影：2013年9月（大阪府大阪市・大阪ビジネスパーク）

◆ “水の都”を代表する表舞台

古くは「弁天島」と呼ばれ、旧大和川などが合流する中洲で、水運交通の要衝でした。今はクルーズを利用して道頓堀川、東横堀川、大川など、川の毛細血管から大動脈まで水のネットワークが広がります。

◆ 閘門の操作でクルーズを実現

東横堀川は平成12年、東横堀川水門と道頓堀川水門が完成。高潮時に旧淀川筋からの流入を防ぎ、河川水位の上昇を防いでいます。常時は閘門の操作により船の航行を可能にしています。

岡村幸二（JRRN会員）